

- 図書館ではさまざまな講習会を企画しています。ぜひご活用ください。
- 詳細は、図書館HP「講習会のお知らせ」をご覧ください。  
<http://library.doshisha.ac.jp/>
- 図書館講習会 e-learningもご活用ください。講習に関連した内容をWeb上で学べるツールです。講習会に参加できなかったとき、内容を復習したいときなどに、自由に学ぶことができます。(Webシングルサインオンサービスからご利用ください。)
- レファレンスカウンターでは、「必要な資料が見つからない」「探し方がわからない」など、個別相談をすることができます。お気軽にお訊ねください。

3つのステップで情報探索のスキルアップ!

Step1 あなたの悩み(?) をみつける(「レベル・達成目標一覧表」参照)

Step2 あなたに便利な受講方法を選ぶ

Step3 受講する 【受講方法: **授**: 授業対応(授業申込) **個**: 個人申込 **E**: e-learning】

初級【A1】 BEGINNING level **?** 同志社大学で利用できる検索ツール(DOORSやDOGS Plus)って何? 使い方がわからない。

講習会を受講

講習会No.1	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	実習	申込	参加者の声
大学図書館の役割と活用 大学生の図書館活用術(I)	4月~5月 10月~11月	1年生	クラス・個人	90分	PCラボ 情報処理教室	60名	あり	要	・大学の図書館がこれほど私たちの勉強に役立つとは知らなかった。様々な便利なシステムについて知れて良かった。
受講方法 <b>授 個</b> ■学習目標: 今後の大学生活で図書館を主体的、有効的に使うことができるようになるために、 ・大学図書館の有用性、必要性を知り、図書館を活用する基礎的な力をつける。 ・図書館で扱うリソースの特徴や活用方法を理解し、使えるようになる。 ■内容: 図書館サービスの概要、検索システムの実習、情報探索に欠かせないデータベース(図書、雑誌記事)の紹介、実習で検索した資料の館内探索。 ※新聞記事データベースの紹介なし。※秋学期については一部変更する可能性あり。 ■講師: 同志社大学 学術情報課 利用支援係 ■使用するデータベース: DOORS、CiNii Articles。 ■前年実績: コロキアム(文情)、人間と情報システムII(理工)、ファーストイヤーセミナー(スポ健)、基礎演習1(GC)、Threshold Seminar 1(GC)、ファーストイヤーセミナー(GC)									

講習会No.2	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	実習	申込	参加者の声
大学図書館の役割と活用 大学生の図書館活用術(II)	4月~5月 10月~11月	1年生	クラス・個人	90分	PCラボ 情報処理教室	60名	あり	要	・本を借りたり、自習したりしか(図書館を)使ってこなかったが、使用目的が広がってよかった。
受講方法 <b>授 個</b> ■学習目標: 今後の大学生活で図書館を主体的、有効的に使うことができるようになるために、 ・大学図書館の有用性、必要性を知り、図書館を活用する基礎的な力をつける。 ・図書館で扱うリソースの特徴や活用方法を理解し、使えるようになる。 ■内容: 図書館サービスの概要、検索システムの実習、情報探索に欠かせないデータベース(図書、雑誌記事、新聞記事)の紹介。 ※資料の館内探索なし。 ■講師: 同志社大学 学術情報課 利用支援係 ■使用するデータベース: DOORS、CiNii Articles、聞蔵II(朝日新聞)など新聞記事データベース。 ■前年実績: 化学システム創成工学概論(理工)									

初級【A2】 BEGINNING level **?** 各種資料(図書・雑誌・新聞等)の違いって? データベースにはどんなものがある? 効果的な探し方を知りたい!

講習会を受講 or セミナールーム、レファレンスカウンターで個別講習

講習会No.3	期間	対象	参加	所要時間	場所	申込	参加者の声
使える! 情報収集ツール 自信をつける資料収集(日本語文献編)	5月~6月 10月~11月	学部生	クラス・個人	90分	PCラボ 情報処理教室 セミナールーム レファレンスカウンター	要	■e-learningで講習会を受講 【Webシングルサインオンサービス】 ※e-learningはいつでも受講可能(申込不要)  e-learning 関連講座タイトル  基本はここから! ①百科事典の活用法 ②図書の探し方 ③雑誌記事・論文の探し方 ④新聞記事の探し方(日本語の新聞) ⑥判例の探し方
受講方法 <b>授 個 E</b> ■学習目標: 目的に応じて最適な情報源がわかるようになる。また、情報探索の方法、各検索ツールの特徴を理解し、目的に応じて検索ツールを選択し使うことができるようになる。これらの知識を今後の大学生活で活かすことができる。 ■内容: 文系理系問わず日本語文献を扱う際の各専攻分野に特徴的なリソースおよび検索ツールの利用と適切な検索ツールの選択について。 ■講師: 同志社大学 学術情報課 利用支援係 ■使用するデータベース: DOGS Plus、JapanKnowledge Lib、bookplus、CiNii Articles、JDreamIII、聞蔵II(朝日新聞)など。							

講習会No.4	期間	対象	参加	所要時間	場所	申込	参加者の声
使える! 情報収集ツール 自信をつける資料収集(外国語文献編)	5月~6月 10月~11月	学部生	クラス・個人	90分	PCラボ 情報処理教室 セミナールーム レファレンスカウンター	要	■e-learningで講習会を受講 【Webシングルサインオンサービス】 ※e-learningはいつでも受講可能(申込不要)  e-learning 関連講座タイトル  基本はここから! ①百科事典の活用法 ②図書の探し方 ③雑誌記事・論文の探し方 ⑤新聞記事の探し方(英語の新聞) ⑥判例の探し方
受講方法 <b>授 個 E</b> ■学習目標: 目的に応じて最適な情報源がわかるようになる。また、情報探索の方法、各検索ツールの特徴を理解し、目的に応じて検索ツールを選択し使うことができるようになる。これらの知識を今後の大学生活で活かすことができる。 ■内容: 文系理系問わず外国語文献を扱う際の各専攻分野に特徴的なリソースおよび検索ツールの利用と適切な検索ツールの選択について。 ■講師: 同志社大学 学術情報課 利用支援係 ■使用するデータベース: DOGS Plus、JapanKnowledge Lib、bookplus、CiNii Articles、JDreamIII、Scopus、聞蔵II(朝日新聞)など。							

中級【B1】 INTERMEDIATE level **必要な情報が何なのか、何を使ったら探せるのかがよくわからない。**

➡ セミナールーム、レファレンスカウンターで個別講習

講習会No.5 レポート、論文、卒論のための テーマを探る実践アプローチ	期間	対象	参加	所要時間	場所	申込	■e-learningで講習会を受講 【Webシングルサインオンサービス】 ※e-learningはいつでも受講可能(申込不要)
	5月～6月 10月～11月	学部生	個人	60分	セミナールーム レファレンスカウンター	要	
受講方法 <b>個 E</b>							e-learning 関連講座タイトル
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: 卒業論文やレポートのテーマ探しを、キーワードの設定から実践的に学ぶ。</li> <li>■使用するデータベース: DOORS、リッテルナビゲータ、JapanKnowledge Libなど。</li> <li>■講師: 同志社大学 学術情報課 利用支援係</li> </ul>							もっと知りたい! ①レポート・卒論へのアプローチ

講習会No.6 レポート、論文、卒論のための 裏付け情報へのアプローチ(文系編)	期間	対象	参加	所要時間	場所	申込	■e-learningで講習会を受講 【Webシングルサインオンサービス】 ※e-learningはいつでも受講可能(申込不要)
	5月～6月 10月～11月	学部生	個人	60分	セミナールーム レファレンスカウンター	要	
受講方法 <b>個 E</b>							e-learning 関連講座タイトル
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: 卒業論文やレポートに使用する情報の裏付けを取ることの重要性を知り、文系分野の裏付けの取り方を学ぶ。</li> <li>■使用するデータベース: DOORS、JapanKnowledge Lib、CiNii Articles、Scopus、聞蔵Ⅱ(朝日新聞)など。</li> <li>■講師: 同志社大学 学術情報課 利用支援係</li> </ul>							もっと知りたい! ①レポート・卒論へのアプローチ ②洋文献へのアプローチ

講習会No.7 レポート、論文、卒論のための 裏付け情報へのアプローチ(理系編)	期間	対象	参加	所要時間	場所	申込	■e-learningで講習会を受講 【Webシングルサインオンサービス】 ※e-learningはいつでも受講可能(申込不要)
	5月～6月 10月～11月	学部生	個人	60分	セミナールーム レファレンスカウンター	要	
受講方法 <b>個 E</b>							e-learning 関連講座タイトル
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: 卒業論文やレポートに使用する情報の裏付けを取ることの重要性を知り、理系分野の裏付けの取り方を学ぶ。</li> <li>■使用するデータベース: DOORS、JapanKnowledge Lib、CiNii Articles、JDreamⅢ、Scopus、聞蔵Ⅱ(朝日新聞)など。</li> <li>■講師: 同志社大学 学術情報課 利用支援係</li> </ul>							もっと知りたい! ①レポート・卒論へのアプローチ ②洋文献へのアプローチ ④自然科学文献へのアプローチ

中級【B2】 INTERMEDIATE level **目的や研究分野に応じて、もっと効果的に情報を収集したい!**

➡ e-learning で分野別の講習会を受講【Webシングルサインオンサービス】利用で、e-learningはいつでも受講可能(申込不要)

講習会No.8 もっと知りたい!② 洋文献へのアプローチ	期間	対象	参加	所要時間	申込
	随時	文系学部生	個人	10～60分	不要
受講方法 <b>E</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: 英文書誌の読み取り方を知り、適切な探索方法を知る。</li> <li>■使用するデータベース: DOGSplus、WorldCat、JSTORほか論文検索データベースなど。</li> </ul>					

講習会No.9 もっと知りたい!④ 自然科学文献へのアプローチ	期間	対象	参加	所要時間	申込
	随時	理系学部生	個人	10～70分	不要
受講方法 <b>E</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: 和洋を問わず、自然科学文献の特徴を知り、文献の探索方法、入手方法を知る。</li> <li>■使用するデータベース: JDreamⅢ、CiNii Articles、J-STAGEなど。</li> </ul>					

e-learningなら  
必要な項目のみを選んで  
学習することが可能です。

自分のスタイルに合わせて、  
効率的な学習を!

さらに疑問点があれば  
図書館レファレンスカウンターで  
直接きいてみよう!

中級【B2】 INTERMEDIATE level **「プロが教える!」調べ方のコツがわからない。個別のテーマ、課題についてさらなる知識を得たい!**

➡ 講習会を受講(昨年度実施実績)

講習会No.10 プロが教える! 教員が本音で語る “よい”レポート・論文執筆のコツ	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
	6月 今年度は図書館HP参照	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階オープンスタイス 今年度は図書館HP参照	30名	要	
受講方法 <b>個</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: レポート・論文の出来を左右する「テーマ選び」について学ぶ。</li> <li>■講師: 青山学院大学教育人間科学部准教授 野末俊比古氏</li> </ul>								

講習会No.11 プロが教える! 人生を拓く情報術	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
	6月 今年度は図書館HP参照	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階PCコーナー 今年度は図書館HP参照	25名	要	
受講方法 <b>個</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: 操られるのではなく、操るための情報術を学ぶ。</li> <li>■講師: 株式会社ズノー ジーワン 調査部 チーフリサーチャー 喜多あおい氏(同志社大学文学部卒)</li> </ul>								

講習会No.12 プロが教える! 図書館を使い倒す!2016年度版	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
	6月 今年度は図書館HP参照	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階オープンスタイス 今年度は図書館HP参照	30名	要	
受講方法 <b>個</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: 人生に役立つ図書館の使い方を知る。</li> <li>■講師: 株式会社ダイヤモンド 千野信浩氏</li> </ul>								

講習会No.13 プロが教える! 統計数字にだまされるな!	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
	6月 今年度は図書館HP参照	学部生・ 大学院生	個人	90分	マルチメディア機器等 設置教室	280名	要	
受講方法 <b>個</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習目標: 基本的な統計リテラシーを学ぶ。</li> <li>■講師: エコノミスト 門倉貴史氏</li> </ul>								

講習会No.14	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
プロが教える！ 知っておこう！著作権	6月、11月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階オープンステイ <small>今年度は図書館HP参照</small>	30名	要	・レポート、卒論を書くためのとても良い勉強となりました。ありがとうございます。
	受講方法	個						
■学習目標: 学術活動において遵守しなければならない著作権の留意点について知る。 ■講師: 国立国会図書館 南亮一氏								


講習会No.15	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
プロが教える！ ウェブ情報の効果的利用法	11月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階PCコーナー <small>今年度は図書館HP参照</small>	25名	要	・たまたま、軽い気持ちで参加しましたが、わりと興味のあること、インターネットのしくみについて知れたことが良かった。
	受講方法	個						
■学習目標: ウェブの世界を知り、情報探索のスキルアップをはかる。 ■講師: Academic Resource Guide 編集長 岡本真氏								

講習会No.16	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
プロが教える！ 政策・統計・企業情報の集め方	11月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階PCコーナー <small>今年度は図書館HP参照</small>	25名	要	・情報の調べ方という検索をかけるくらいしか浮かばなかったので、詳しく色々な情報源とできるようなものを教えていただけて、とても良い経験でした。
	受講方法	個						
■学習目標: 正確な事実確認のための各種調査、統計情報等の入手法を知る。 ■講師: (株)日本能率協会 マーケティング・データ・バンク								

講習会No.17	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
プロが教える！ 同大生のための図書館超活用術	11月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階オープンステイ <small>今年度は図書館HP参照</small>	30名	要	・図書館の使い方や棚の見方などとてもわかりやすかった。論文の書き方の心得がとても興味深かった。
	受講方法	個						
■学習目標: レポート・論文作成はもちろん、人生にも役立つ、図書館の使い方を学ぶ。 ■講師: ライター 奥野宣之氏(同志社大学文学部卒)								

講習会No.18	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
プロが教える！ 理系のためのプレゼンの基本	11月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階オープンステイ <small>今年度は図書館HP参照</small>	30名	要	・自分を磨くことができました。今度スピーチをしないといけないので、活かしてみようと思います。
	受講方法	個						
■学習目標: 自分の考えを相手にわかりやすく伝えるスキルを学ぶ。 ■講師: 福岡工業大学部電気科准教授 中野美香氏								

講習会No.19	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	参加者の声
プロが教える！ 英語多読用資料を使った効果的な語学学習とは	11月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階オープンステイ <small>今年度は図書館HP参照</small>	30名	要	・とてもためになったと思う。具体的な本の名前があってわかりやすかった。
	受講方法	個						
■学習目標: 語学学習に最適な多読用資料(ESL)の効果的な使い方を学ぶ。 ■講師: 本学グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科准教授 稲垣俊史氏								

中級 [B2] INTERMEDIATE level  **《データベース講習会》 データベースの使い方がわからない。うまく使いこなせない。**

➡ 講習会を受講(昨年度実施実績)

講習会No.20	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	ポイント！
データベース講習会 情報を管理する！ RefWorks	6月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階PCコーナー <small>今年度は図書館HP参照</small>	25名	要	レポート・論文作成に使える参考文献データベースの作成
	受講方法	個						
■特徴: 文献情報を収集、管理し、論文作成、業績管理、参考文献・研究業績作成等に利用する文献管理ツール。 ■講師: 株式会社サンメディア								

講習会No.21	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	ポイント！
データベース講習会 日本最大級の科学技術文献DBを使いこなそう！ JDream III	6月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階PCコーナー <small>今年度は図書館HP参照</small>	25名	要	日本語・外国語の科学技術・医学・薬学文献探索 フルテキストへのリンクあり
	受講方法	個						
■特徴: 株式会社ジー・サーチ提供の科学技術関連の索引データベース。JSTPlus、JMEDPlus、MEDLINE、医学・薬学予稿集全文データベースの論文記事の検索が可能。J-STAGE、Journal@rchive、メディカルオンラインとの連携により、一部フルテキストへのリンクもあり。日本語のキーワードで外国語雑誌の論文も同時に検索できる。医療系論文の収集にも役立つ。 ■講師: 株式会社紀伊屋書店								

講習会No.22	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	ポイント！
データベース講習会 質の高い論文を効率よく探そう！ Scopus	6月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階PCコーナー <small>今年度は図書館HP参照</small>	25名	要	外国語文献の探索 フルテキストへのリンクあり
	受講方法	個						
■特徴: Elsevier社提供の科学・技術・医学・社会科学・人文科学の索引・引用文献データベース。探し出した論文が何回引用されている論文なのかを知ることができる。参考文献へのリンク(Backward Citation)、引用された論文へのリンク(Forward Citation)、共通の参考文献を有する論文へのリンクが画面で表示され、研究のひろがりや関連性なども把握できる。アラート機能を利用することで、自分の研究テーマにあった新着論文の情報を定期的に入手できる。また、APAやMLAなど9種類の参考文献フォーマットを有し、必要に応じて適した参考文献リストを作成できる機能も持っている。 ■講師: ゼファー・ビヨンド株式会社								

講習会No.23	期間	対象	参加	所要時間	場所	定員	申込	ポイント！
データベース講習会 レポート作成の第一歩！ JapanKnowledge Lib	1月、2月 <small>今年度は図書館HP参照</small>	学部生・ 大学院生	個人	90分	1階PCコーナー <small>今年度は図書館HP参照</small>	25名	要	日本有数の百科事典や辞書類が持つ膨大な知識情報を収録 「発想支援ツール」としても活用可能
	受講方法	個						
■特徴: 辞事典、叢書、雑誌が検索できる辞書・事典サイト。「日本大百科全書」「世界大百科事典」「Encyclopedia of Japan」「日本国語大辞典」「字通」「国史大辞典」「日本方言大辞典」「日本歴史地名大系」「イミダス」「現代用語の基礎知識」「NNA」等の横断検索や「会社四季報」「週刊エコノミスト」「東洋文庫」「日本古典文学全集」「文庫クセジュ」「日本近代文学館「太陽」」「群書類従」の全文閲覧が可能。 ■講師: 株式会社紀伊屋書店								